



## 国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し オセアニア・南極・北極セット 小学校高学年向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。  
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。  
※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

### 1. 世界の文化と衣食住：国の記念日と祝日 4（南北アメリカ・オセアニア）

鈴木佑司 監修  
小峰書店 2019年

各国の「衣装・料理・住居」の特色と、国の記念日や祝祭日を、カラー写真をふんだんに使って紹介するシリーズ。伝統的な行事も紹介されており、その国の文化や歴史をわかりやすく学ぶことができる。第4巻では、オセアニア地域の国々を掲載する。巻末に索引あり。

### 2. DOOR：208の国と地域がわかる国際理解地図 5（南アメリカ・オセアニア）

地図情報センター 2019年

カラフルなイラスト地図で各国への理解を促すシリーズ。人口などの基本データや国旗、国際オリンピック委員会が定めた略称、挨拶の言葉などを紹介。多様なイラストと地図でその国の概要を掴むことができる。5巻では、オセアニアの国々と北極、南極地域を掲載する。巻末に索引あり。

### 3. 写真で学ぶ世界遺産 2（南北アメリカ・オセアニア）

平川陽一 編著  
汐文社 2015年

文化遺産、自然遺産など、ユネスコの世界遺産を豊富なカラー写真で紹介するシリーズ。オーストラリアのウルル-カタ・ジュタ国立公園、ニュージーランドのテ・ワヒポウナム-南西ニュージーランドなどの2014年までに登録された遺跡・景観・自然を掲載し、分かりやすい解説を付す。巻末にオセアニアエリアの世界遺産一覧表・用語解説集あり。

### 4. 聞いてみました！日本にくらす外国人 5（オーストラリア・ニュージーランド・ナイジェリア・マリ）

佐藤郡衛 監修  
ポプラ社 2018年

日本に暮らす外国人に対し、日本での仕事と暮らしや日本と母国の違いなどについてインタビューしたシリーズ。第5巻では、オーストラリア、ニュージーランド、ナイジェリア、マリの4か国から来た4名が取り上げられている。巻末に索引あり。

### 5. 世界のともだち 29（オーストラリア）

偕成社 2015年

世界の子供たちの生活を紹介する写真絵本シリーズ。29巻では、オーストラリアの東海岸の町バイロンベイに住むピリーを紹介する。身近な海で遊ぶ姿や自由な学校生活、にぎやかな真夏のクリスマスパーティーの様子などを見ることができる。巻末には、地理・歴史のデータを掲載。

## 6. さがし絵で発見!世界の国ぐに 16 (オーストラリア)

稲葉茂勝 著

あすなろ書房 2014年

オーストラリアの地理、歴史、文化、産業の概要について紹介する。本文を読む前の導入として、冒頭にオーストラリアの特徴や日本との違いを考えさせるさがし絵を掲載している。巻末に索引あり。

## 7. ジス・イズ・オーストラリア

ミロスラフ・サセック 著, 松浦弥太郎 訳

ブルース・インターアクションズ 2006年

世界の都市を旅して描いた「ジス・イズ」シリーズの1冊。大都市シドニーから最北に位置する開拓民の街ダーウィンまで、オーストラリアの街々を案内。シドニーのオペラハウスといった有名な建物はもちろん、カンガルー注意の看板など街の様子をしゃれた絵で紹介し、各地を実際に旅している気分になる。原書は1970年刊行だが、巻末で現在の情報が補われている。

## 8. ニューージーランド (体験取材!世界の国ぐに9)

岡崎務 文・写真

ポプラ社 2006年

ニューージーランドの国と生活をわかりやすくまとめた本。火山や氷河が広がる雄大な自然、マオリの文化、羊や牛と大地の恵みを受けた産業、スポーツ、都会と地方のくらしなど、豊富な写真とともに紹介する。読書教育が盛んで、学校によっては、校長先生が指導する読書の時間がある。国の歴史や日本との交流史も掲載。巻末にデータ・索引あり。

## 9. ミクロネシア連邦 (体験取材!世界の国ぐに10)

岡崎務 文・写真, 在日ミクロネシア連邦大使館 監修

ポプラ社 2006年

太平洋に浮かぶ600以上の島々、ミクロネシア連邦を豊富な写真で伝える。4つの州が一緒になった連邦国で州ごとに言葉や文化が違う。各州とも小学校は8年間の義務教育で、共通語として英語を学ぶ。パンノキの実で作るモチとドーナツが並ぶ店頭、石のお金(石貨)とアメリカドル紙幣、伝統農業によるタロイモ・ヤマイモの栽培と、農薬や人口肥料を使うナスの栽培など、この国では伝統と現代が交差している。巻末に歴史と基本データ、索引あり。

## 10. ふるさとにかえりたい: リミヨおばあちゃんとヒバクの島

島田興生 写真, 羽生田有紀 文

子どもの未来社 2014年

水爆ブラボー実験により、放射能汚染を受けたロンゲラップの住民の健康被害や、島から移住せざるを得なくなったその後の経緯を、当時13歳だったリミヨおばあちゃんの人生とともに紹介する。

## 11. アボリジニ (写真で知る世界の少数民族・先住民)

ダイアナ・マルシュエル 著, 藤村奈緒美 訳

汐文社 2008年

アボリジニとは、オーストラリアに5万年前から住んでいた民族である。彼らは、ブーメランで狩りをし、大地は祖先の精霊と繋がり、自分たちを自然の一部と考えている。この本では、先住民の中で伝統的な生活をする人々の生活を写真とわかりやすい言葉で説明する。

## 12. マオリ（写真で知る世界の少数民族・先住民族）

レスリー・シュトゥラドゥヴィク 著、斉藤慎子 訳  
汐文社 2008年

マオリとはニュージーランドの先住民である。彼らのマナ（威信）やタブ（英語のタブー）等の社会の掟をわかりやすく説明し、ハカ（おどり）や彫刻や民族衣装等の文化も紹介する。マオリ文化を守るための取り組みや現在の問題点にも触れる。彼らは「ほろびゆく民族」と呼ばれたが、1987年にマオリ語が英語とともにニュージーランドの公用語になった。

## 13. ポリネシアのごはん（絵本世界の食事 23）

銀城康子 文、マルタン フェノ 絵  
農山漁村文化協会 2020年

ポリネシアの中心に位置するフランス領タヒチの食文化について、その背後にある気候風土や歴史も含めて紹介する。ハワイなどポリネシアに属する他の島との比較から、ポリネシア全体の食文化への理解を深めることができる。日本でも入手可能な代用品を用いたレシピも掲載されている。

## 14. 元気が出る！世界の朝ごはん 4（オセアニアと南アメリカ）

服部幸應、服部津貴子 監修  
日本図書センター 2007年

朝ごはんを通じて世界の食文化と朝食の大切さを紹介するシリーズの4巻目。オーストラリア定番の朝食は「トーストにベジマイト」で、野菜エキスを発酵させたベジマイトをパンに塗って食べる。ニュージーランドからは野菜のキッシュ、サモアからはカカオポリッジが紹介されている。作り方も載っているので挑戦してほしい。シリーズの総索引あり。

## 15. オセアニアのあやとり：あやとりの宝庫で見つけた傑作選 2

野口とも 著  
誠文堂新光社 2019年

各地域の人々が伝えてきたあやとりを紹介するシリーズ。第1章は、見開きごとに1種類ずつあやとりの写真と紹介文を掲載。第2章では、第1章で紹介した中から、11のあやとりについて、実際にどう形を作っていくかイラストで紹介する。「2匹の魚」や「珊瑚」など、海に囲まれ自然豊かなオセアニアならではのあやとりや、神話や伝説にもとづくあやとりも掲載。

## 16. クックの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵、ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文、吉田悟郎 訳  
評論社 1981年

「キャプテン・クック」として知られる、18世紀のイギリス人探検家クックの3度にわたる南半球航海記の大判絵本。最初の航海は、タヒチ島で金星を観測するのが目的だったが、これは表向きの理由で、イギリスは未知の大陸発見を期待していた。3度の航海で新大陸は見つかったのか。最初に航海したエンデヴァ号の断面図やオーストラリアの動物、マオリの船などを緻密な絵で紹介する。見返しに航路図あり。

## 17. まんが★プラネタリウム星座と神話 5

藤井旭 監修  
学研プラス 2018年

各星座の見つけ方や星座にまつわる神話を紹介するシリーズ。第5巻では、主に南半球から見える星座を紹介しており、カメレオン座やふうちょう座など日本では馴染みの薄い星座が登場する。巻末に索引あり。

## 18. ニワシドリのはみつ：庭師鳥は芸術家

鈴木まもる 文・絵

岩崎書店 2014年

オーストラリアやニューギニアに生息するニワシドリ科のオスは、メスへの求愛のために特徴的な構造物「あずまや」を作る。それぞれの種のアズマヤを紹介するとともに、あずまやを作る理由を考察している。

## 19. コアラ病院へようこそ：野生動物を救おう！

スージー・エスターハス 文と写真, 海都洋子 訳

六耀社 2016年

病気やケガで傷ついたコアラや親のいない子どものコアラを保護し、ケアを行うコアラ病院の活動を紹介します。保護された子どものコアラが、人間の「里親」の献身的な世話によって成長し、野生に復帰するまでの過程を知ることができる。巻末に用語解説あり。

## 20. オールド・ブルー：世界に1羽の母鳥

メアリ・テイラー 作, 百々佑利子 訳

さ・え・ら書房 1999年

ニュージーランド本島から東に1000キロのチャタム諸島に、世界でここだけに生息する黒い小鳥ブラックロビンがいた。この絵本は、絶滅の危機にさらされ、ブルーと名づけられたブラックロビンの母鳥とひなを救うために力を尽くした人々の記録である。絵は緻密で、落ち着いた色彩が美しい。1970年代にブルーを含め7羽しかいなかったロビンは、100羽まで増えた。

## 21. 南極から地球環境を考える 1 (南極観測のはみつ Q&A)

国立極地研究所 監修, こどもくらぶ 編さん

丸善出版 2014年

## 22. 南極から地球環境を考える 2 (南極の自然・環境 Q&A)

国立極地研究所 監修, こどもくらぶ 編さん

丸善出版 2014年

## 23. 南極から地球環境を考える 3 (南極と北極のふしぎ Q&A)

国立極地研究所 監修, こどもくらぶ 編さん

丸善出版 2014年

南極に関する疑問に答えるシリーズ。第1巻では、南極観測の歴史や現状について紹介し、観測隊員経験者のインタビューも掲載する。第2巻では、南極の気象や生物について紹介する。第3巻では、南極観測の成果や意義の他、北極の自然についても紹介する。各巻末に索引あり。

## 24. ソフィー・スコットの南極日記

アリソン・レスター 作, 斎藤倫子 訳

小峰書店, 2013年

ソフィー・スコットという9歳の女の子の日記の形で、南極へ行って帰るまでが綴られた絵本。著者自身がオーストラリア南極観測隊の研究者としてモーソン基地へ行った経験がもとになっている。本書の挿絵には、著者が描いたものの他に、著者の経験談をもとに子どもたちが描いた絵が使用されている。

## 25. ふしぎな北極のせかい：犬ぞり探検家が見た！

山崎哲秀 著

repicbook, 2018 年

犬ぞりで北極圏の観測調査を行っている犬ぞり探検家の著者が、北極の環境や生き物、北極圏で生きる人々の暮らしについて紹介する。一問一答形式で、どこからでも読み始めることができる。

## 26. やまとゆきはら：大和雪原：白瀬南極探検隊

関屋敏隆 さく

福音館書店 2002 年

百年前の明治時代に南極観測船「開南丸<sup>かいなんまる</sup>」で出発した白瀬<sup>のぶ</sup>ら南極探検隊の足跡を描いた絵本。29頭の犬が半年の航海で1頭になったことや、厳寒の南極大陸を犬ぞりで進む様子など、当時の航海と南極観測の壮絶さが表れている。布地版画で描かれた輪郭のはっきりした絵は、力強く大和雪原を描き出す。帰国後の白瀬や隊員らの様子も紹介されている。あとがきと解説、参考文献もあり。

## 27. ポリネシア・メラネシアのむかし話：海の少女ヒナほか

ダイクストラ好子 編訳

偕成社 2000 年

西太平洋のポリネシアの島々とオーストラリア北東のメラネシアの島々に伝わる 16 編のお話を収録した昔話集。島なので海にまつわる話が多い。また、食べ物や風習の描写からは、南の島の生活や道徳などが読み取れる。現在のソロモン諸島の『海の始まり』は現地の言葉を使った描写もあり、3分ほどの短い話なので、授業の導入に使うこともできる。

## 28. カンガルーには、なぜふくろがあるのか：アボリジナルのものがたり

ジェームズ・ヴァンス・マーシャル 再話, フランシス・ファイアブレイス 絵, 百々佑利子 訳

岩波書店 2011 年

「カンガルーには、なぜふくろがあるのか」をはじめとしたアボリジナルに伝わるお話 10 話が収録されている。カンガルーやカモノハシなど、オーストラリアの生き物が登場する話が多い。巻末に用語の解説とアボリジナルの絵に用いられる記号の紹介がある。

## 29. Herbert : the brave sea dog (英語) ハーバート：勇敢な海の犬

Robyn Belton

Molly Paul Books 2008 年

この絵本は、事実を元に作られている。小さな犬ハーバートは、飼い主の男の子ティムの父親と一緒に船に乗ったが、途中で嵐に遭い、ハーバートは船から落ちた。翌日、ティムは父親に頼み、漁師と共にハーバートを探し出す。嵐の海を泳ぎ続けたハーバートは、勇敢な犬としてメダルを受賞した。ラジオでこの話が流れると、ニュージーランド中で話題になった。表紙裏には、ティムや全国から感動の手紙の写真が掲載されている。

## 30. Kiwi moon (英語) キウィ・ムーン

Gavin Bishop

Random House New Zealand 2008 年

月をお母さんだと思った白いキウィの子は、山火事の時に月に助けられ空へ行く。月が疲れたときに代わりに満月 (Kiwi moon) になった。白いキウィと月の幻想的な絵の一部に、入植当時のニュージーランドの先住民の暮らしや入植者との戦いも描かれている。2006 年にラッセル・クラーク賞 (ニュージーランドの絵本賞) を受賞。

### 31. My brown bear Barney (英語)

Dorothy Butler, illustrated by Elizabeth Fuller  
Reed Children's Books 1994年

### 32. わたしのバーニーいつもいっしょ

ドロシー・バトラー さく, エリザベス・フラー え, ももゆりこ やく  
のら書店 1997年

クマのぬいぐるみのバーニーといつも一緒にいる小さな女の子の日常が描かれる。ぬいぐるみの質感まで伝わる温かみのある絵からは、ニュージーランドの一般家庭の様子もわかる。作者のドロシー・バトラーは、ニュージーランドの児童文学者。児童書専門店を開き、母親を対象とした読書教育を行う。重度障害をもつ孫娘と絵本の関わりを書いた『クシュラの奇跡』は、エリナー・ファージョン賞(1980年度)を受賞。

### 33. Bush Babies (英語) ブッシュ・ベイビーズ\*

Kim Dale  
Thomas C. Lothian Pty Ltd 2003年

オーストラリアに住む野生動物の赤ちゃんを紹介した知識絵本。コアラやエミューなど、オーストラリア特有の動物15種類を取り上げる。各頁に動物をイメージした英語詩が付いている。精密な絵で、折り込みページになっているので、ヒントを出して、動物当てクイズをしても面白いだろう。巻末に、動物の説明付。2004年オーストラリア児童図書賞ノンフィクション部門ショートリスト選出。

### 34. Diary of a wombat (英語) ウオンバットのにつき

written by Jackie French, illustrated by Bruce Whatley  
Angus & Robertson 2003年

オーストラリアに生息する有袋類ウオンバットによる日記の形式をとった絵本。ウオンバットが人間の生活圏で自由気ままに生活し、ときに人間を困らせる様子をユーモラスに描く。本セットには含まれないが、邦訳が『ウオンバットのにつき(児童図書館・絵本の部屋)』(かしまあおい やく 評論社 2005年)として出版されている。

### 35. Lizzie Nonsense (英語)

Jan Ormerod  
Little Hare 2004年

### 36. ゆめみるリジー

ジャン・オーメロッド 作・絵, はやかわゆか 訳  
アールアイシー出版 2007年

オーストラリア開拓時代の家族の生活を描いた創作絵本。森の奥の小さな家に住んでいる女の子リジーは、お父さんが仕事でいない間、お母さんと赤ちゃんの3人で暮らしている。夢見がちなりジーに、お母さんはあきれ顔。暖かみのある色彩で、森での生活をやさしく描く。2006年国際児童図書評議会オナーリスト作品。

### 37. Possum and wattle : my big book of Australian words (英語)

#### ポッサムとワトル：オーストラリアの言葉の本

Bronwyn Bancroft  
Little Hare 2008年

オーストラリア特有の動物や伝統的な道具など表す言葉を、先住民（アボリジニ）の中でも聖地を守るバンジャラン族の画家の絵とともに紹介した絵本。言葉の多くは bat（コウモリ）など英語だが、boomerangs（ブーメラン）などアボリジニに由来する言葉も含まれている。黒いはっきりした輪郭と点や丸で描かれた色鮮やかな絵は力強く、全ての物に精霊が宿ると考えるアボリジニの文化を感じることができる。

### 38. The Shack that Dad Built (英語) 父さんが建てたブリキ小屋

Elaine Russell  
Little Hare Books 2004年

1940年代半ば、アボリジニである著者エレインが5歳の時、彼女と家族は、アボリジニ定住区を避けて、シドニー近郊の浜辺ラペルーズへ引っ越した。父親は、浜辺の横にゴミ捨て場から拾ってきたブリキで小屋を作り、家族はそこで5年間を過ごした。色鮮やかな絵は、当時のオーストラリア西部に住むアボリジニたちの様子をよく伝える。

### 39. ヘビとトカゲきょうからともだち

ジジョイ・カウリー 作, ガヴィン・ビショップ 絵, もりうちすみこ 訳  
アリス館 2011年

### 40. Snake and Lizard (英語)

Joy Cowley, Gavin Bishop  
Gecko Press 2007年

おだやかな性格のヘビと元気一杯なトカゲが、ケンカをしながらも互いの違いを理解し、友情を育んでゆく物語。Joy Cowley はニュージーランドの女性作家で、絵本も描く。登場人物の性格まで分かるような魅力的な挿絵も楽しい。一話一話は短いので英語での読み聞かせに挑戦してもよいだろう。2008年ニュージーランド・ポスト児童図書部門年間最優秀賞作品。

### 41. Imagine (英語)

Alison Lester  
Allen & Unwin 2007年

### 42. どうぶつがいっぱい！

アリソン・レスター 作, 岡部史 訳  
河合楽器製作所・出版事業部 1995年

「もしここがジャングルだったら」と想像すると、次ページにジャングルとそこに住む動物が描かれている楽しい絵本。200種類以上の動物が細かく描かれており、余白に描かれた動物の名前が出ていたので、探すのも楽しい。森のページでは、オセアニアの動物が登場する。作者は、オーストラリア南東部の農場で生まれ、動物に囲まれて育つ。25冊もの絵本を出版し、本書をはじめ、各国語に訳され世界中で読まれている。

国立国会図書館 国際子ども図書館  
児童サービス課 児童サービス企画係  
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>